

世界税関機構(WCO)の模倣品・海賊版の水際防止のためのIPMシステムについて

大 倉 基 行*

抄 録 世界税関機構(WCO)が開発し、2011年6月から運用を開始した模倣品・海賊版の水際防止のためのツールであるIPM(Interface Public Members)について、その機能、メリット、利用状況などを紹介する。同システムは、世界各国・地域の税関に正確かつ安全にタイムリーな真贋鑑定ポイント情報や権利者のコンタクト先の情報などを提供し、効果的・効率的に模倣品・海賊版の水際対策を行えるものである。

Q 1 WCOとはどのような機関ですか？

A 1 世界税関機構(World Customs Organization)とは、1952年に設立された、ベルギーのブリュッセルに本部を置く税関関連の唯一の国際機関です。179カ国・地域をそのメンバーとし、御厨事務総局長の下、関税制度の調和・統一及び税関行政の国際協力の推進による国際貿易の発展、ひいては世界経済活性化の観点から活動を行っています。

Q 2 WCOは知財保護にどのような態度を取ってきているのですか？WCOにおける知財保護に関するこれまでの対応、リーダーシップについてはどのようなことが行われているのですか？

A 2 税関による水際における取締りの実効をいかに確保し、国民の健康・安全を守るのかを、WCOの重要な戦略課題として設定しています。知的財産侵害品の中には、偽造医薬品や偽パーツなど国民の健康・安全に直接の被害をもたらすものも多くあることから、その取締りの重要性は増しており、この観点から

WCOでは開発途上国に対する技術支援を積極的に実施しています。技術支援に当たっては、消費者の意識向上、権利者の意識向上と税関との連携強化、IT活用等による取締能力の向上、開発途上国の法制度整備に重点を置いています。

Q 3 IPMとはどのようなものですか？そのベネフィットは何ですか？

A 3 IPMはその名の通り、民間(Public)とWCOメンバー税関(Members)との間の模倣品・海賊版に関するインターフェースです。もう少し具体的には、権利者企業から提供される模倣品に関する真贋判定ポイント等最新の情報にアクセスできる環境を世界各国の税関に提供するもので、税関職員の模倣品等に関する認識能力やリスク判定の向上に寄与するものです。なおIPMは権利者企業と税関とのインターフェースのみならず、権利者企業の抱える様々な業務(企業内の模倣品関連情報の集約、代理人等のトレーニング等)をサポートする機能も備えています。

* WCO テクニカルアタッシェ Motoyuki OKURA

Q 4 IPM開発のアイデアはどこから来たのですか？ ニーズはどこにあったのですか？

A 4 これまでのWCOの活動の中で確認された権利者側のニーズ（世界中の税関職員がアクセスできる真贋鑑定情報を含むプラットフォームの構築）と、現場の税関職員が日々直面している課題（模倣品関連の知識・権利者の連絡先情報の不足等）とのギャップを埋める必要性に対する認識がIPM開発のきっかけになりました。

Q 5 IPMの機能とそのメリットは何ですか？

A 5 IPMの機能は大まかに6つに大別できます。

1) 権利者企業と税関とのコミュニケーション機能です。特に本物/偽物データベースには、真贋判定ポイントのみならず、正規品に関する情報、正規品の輸送ルート、製品の外装に関する情報、過去の事例など、税関職員が書類の審査時や実際の貨物の検査時に模倣品かどうかの疑義を抱くのに必要な情報を権利者がアップロードできる仕様になっています。これらの情報を基に税関が模倣品の可能性が高いと判断した場合には、権利者の連絡先データベースを用いて、すぐに権利者にコミュニケーションを取り、必要なフォローアップを行うことができます。なお、権利者がアップロードした各情報に対して、ユーザーである税関職員が評価やコメントを付す機能もあります。

2) 権利者とWCOとのコミュニケーションに関する機能です。IPM参加企業はWCOが実施する模倣品関連オペレーションに関する情報（結果を含む）の提供を受けることが可能です。また、権利者企業が関心ある地域や国におけるトレーニング実施のニーズをWCOと共有できます。

3) IPMに蓄積された情報を再利用する機能

です。パワーポイントなどの作成のためにデータをエクスポートする機能や、IPMにアップロードされた画像情報を利用した税関職員のための真贋判定オンラインテスト機能も稼働中です。今後は、差止申立書の添付書類作成の補助機能も追加される予定です。

4) 権利者と代理人とのコミュニケーション機能です。A9とA18でも後述しますが、代理人にもアクセス権を付与することで、権利者の製品に対する代理人の理解の深化に役立ててことができます。

5) 第三者とのコミュニケーション機能です。オークションサイト運営会社にアクセス（閲覧）権を認め、サイト側の自主的判断による模倣品関連エントリーの削除に活用したり、税関が検査会社に業務委託をしている場合は、その検査会社にIPMへのアクセス権を付与することも可能です。

6) 権利者企業内における模倣品関連情報の集約機能です。IPMに蓄積された情報は単に税関が利用するだけでなく、権利者企業の自社内での模倣品に関連するデータベースとしても活用することもできます。

Q 6 IPMを利用すれば各国への税関登録は不要になるのですか？

A 6 IPMはあくまでも税関職員の模倣品に対するリスク判定の精度を高めるために必要な情報を提供するツールであり、差止申立手続などの法的な手続に取って代わるものではありません。各国の差止申立手続で要請される情報を補完する情報をタイムリーに提供することが出来るツールであると言っても良いでしょう。

Q 7 他の権利者の情報は見ることができるのですか？

A 7 IPMを利用している権利者が入力した情報は、入力した権利者（及び当該権

利者がアクセスを認めた関係者) 以外は閲覧できません。

税関に対しても、データを入力する権利者の側で、どの国に閲覧を認めるか個別に設定することが可能です。

Q 8 IPMにアップロードできるデータの種類や容量に制限はあるのですか？

A 8 データ容量に関する制限はありません。動画を利用することもできます。他方、たとえばパワーポイント形式のファイルや、電子カタログなどはアップロードできない仕様になっています。これは1日に数多くの貨物を検査する税関の現場職員が、そのリスク判定に必要なデータに最小限のステップで行き着くようにとの配慮に基づいています。

Q 9 海外子会社や代理人が本人(権利者企業)に代わって情報をアップロードすることはできるのですか？

A 9 IPMには①管理者(一契約につき一の管理者権限が付与。ユーザーアカウントを作成可能)、②一次ユーザー(データの編集が可能)、③二次ユーザー(閲覧のみ)の3段階のレベルがあります。管理者が一次ユーザー権限を付与すれば、海外子会社や代理人でもIPMに情報をアップロードすることが可能です。

Q 10 IPMは他の同様なツールや社内外システムと連携することはできますか？

A 10 各社により利用するシステムの仕様が異なっていますので、ケースバイケースの対応となります。

Q 11 WCO内におけるIPM開発とメンテナンスの対応体制について教えてください。

A 11 IPMの推進・開発関連の政策を担当するWCOの正規職員、システム開発及

びメンテナンス担当、税関及び権利者企業への普及促進及びサポート担当、広報担当に加え、今後は普及促進担当の増員を予定しています。

Q 12 IPMを利用する税関と今後の見通しについて教えてください。

A 12 2013年3月現在、53カ国・地域¹⁾の税関の約2,700名の税関職員がIPMを利用しています。今後も特に地域でのオペレーションやセミナー等の技術支援活用を通じて利用税関の拡大に努めると共に、国別の個別のサポートを通じて、各国税関内の利用職員数の増加の働きかけを継続していきます。

Q 13 各国税関のIPMの運用方法はどのようになっているのですか？

A 13 運用方法は各国税関の個別の状況によって様々であり、現場の税関職員に広くアクセスさせ日常的なトレーニングやリスク判定能力の向上に活用している例もあれば、中央部でIPMの情報を分析、自国の独自情報を付加した上で、現場レベルにアラート情報を発出する体制をとっている例もあります。

Q 14 IPMを使って成功した事例にどのようなものがあるのですか？

A 14 WCOでは、WCOメンバー税関や関連機関と協力して知的財産権侵害物品を集中的に取り締まる模倣品関連オペレーションを頻繁に実施しています。IPMは、このオペレーションを効率よく実施するために不可欠なツールです。最近では、IPMを利用した西アフリカ地域の税関での3日間のオペレーションで、一億点以上の知的財産権侵害疑義物品を水際で見つけました。

またある税関においては、IPM導入によって、限られた時間の中で模倣品以外の取締対象物品にも広く対応しなければならない現場の税関職

員の業務の効率が上がったこと、また模倣品全般に対する職員の問題意識が向上したとのフィードバックを得ています。

Q 15 税関以外に警察やその他の取締機関がIPMを利用することはできますか？

A 15 現時点ではその予定はありませんが、将来的にはユーザーである税関や権利者企業、その他取締機関のニーズ把握をしながらその可能性を検討していくことになります。

Q 16 IPMに参加している権利者企業の状況やWCOとの会合について教えてください。

A 16 2013年2月時点で64社が400近いブランドのデータをIPMにアップロードしています。産業別に見ると製薬会社が最も多く、高級ブランド品メーカーと電機機器メーカーが続いています。本社所在地の国別に見ると、フランスと米国が最も多く、日本、スイスと続きます。

IPM参加企業を対象としたWCO事務局との間の会合がWCO本部で定期的に開催されています（オンラインや電話回線を通じた本会合への参加のオプションもあり）。当会合では、IPMに関する最新の情報がWCOから紹介されると共に、参加企業とWCOとの忌憚のない意見交換が行われています。

Q 17 権利者企業のIPM利用料金と利用条件を教えてください。

A 17 注記2)の表を参照下さい²⁾。利用料金はユーザー企業の年間売上高により異なっており、現在は3年、5年乃至10年単位での契約のオプションがあります。その他無料のオンライントレーニングや、WCOによるデータ入力や翻訳サービス（一部有料）も提供しています。インターネットに接続できる環境があれば企業の規模に関わらず利用可能です。

Q 18 法律／特許事務所（代理人）の利用可能な機能と料金を教えてください。

A 18 代理人へのIPM利用パッケージを2013年第一四半期のリリースに向けて準備中です。権利者企業が利用できるIPMの機能を一部制限したものになる予定です。料金についても権利者企業のパッケージよりは割安となります。

Q 19 IPMを試してみたいが、権利者企業が使える全ての機能を試せるテストサイトやトライアル方法はありますか？

A 19 IPMの全ての機能を試せるデモサイトがあります。またその機能や利用法に関する詳しい説明（英語または仏語）を行うウェブカンファレンスを随時受け付けています。デモサイトへのアクセス、ウェブカンファレンスのお申し込みはWCO事務局（下記A21の問い合わせ先を参照）にご連絡下さい。

Q 20 IPMの申込の手続はどのようにすれば良いのですか？

A 20 まずはWCO事務局（下記A21の問い合わせ先を参照）にご連絡下さい。折り返し注文書（purchase order, P/O）、インボイス、IPM利用ライセンスが送付されますので内容を確認・必要事項を記入・署名の上、WCO宛にP/O及びライセンス（2部）をWCOまで送付下さい。規定料金の払い込みが確認され次第、IPMの管理者ログインとパスワードが発給され、IPMの利用開始となります。

Q 21 IPMに関する質問や相談のコンタクト先を教えてください。

A 21 IPMに関するお問い合わせはWCOのIPM担当ipm@wcoomdpublishings.org（英語または仏語）までお願いします。また日本関税協会 知的財産情報センター（CIPIC）

本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

でもIPMに関するご質問、WCO事務局への問い合わせ等を受け付けています。

本稿の作成にあたって、日本関税協会 常務理事 知的財産情報センター (CIPIC) 事務局長 河野 泰一氏のご協力を頂いた。

注 記

1) IPMを利用する税関の国・地域名

アイスランド	グルジア	トーゴ	マケドニア・旧ユーゴスラビア共和国
アイルランド	ケニア	ドミニカ共和国	マダガスカル
アラブ首長国連邦	コンゴ民主共和国	トルコ	マレーシア
アルゼンチン	ジブチ	トンガ	南アフリカ
アルバニア	ジャマイカ	日本	モーリシャス
アンゴラ	セイシェル	パナマ	モザンビーク
ウガンダ	セネガル	バハマ	モロッコ
英国	セルビア	ハンガリー	モンゴル
エジプト	タイ	フランス	モンテネグロ
オランダ	大韓民国	ベトナム	リベリア
カーボベルデ	タンザニア	ペルー	ロシア連邦
カメルーン	中央アフリカ共和国	ベルギー	(2013年3月現在)
カンボジア	チュニジア	香港	
ギニア	チリ	マカオ	

2) 権利者企業のIPM利用料金 (2013年3月現在)

権利者企業のIPM利用料金表 (2013年3月現在)

ユーザーの年間売上高	5億ユーロ超	1億ユーロ以上 5億ユーロ以下	1億ユーロ未満
3年契約料金*	€9,960/年	€6,660/年	€2,960/年
5年契約料金*	€7,960/年	€5,660/年	€2,360/年
10年契約料金*	€6,960/年	€4,660/年	€2,060/年

* 当該料金で7つのブランドまで登録可 (8つ目以降のブランドの登録料金についてはWCOまでお問い合わせください。)

付加サービスに関する料金表

	3年契約の場合	5年契約の場合	10年契約の場合
現場トレーニング (1日あたり - 欧州)	€1,200	無料	無料
オンライントレーニング	無料	無料	無料
WCOによるデータ入力	€490	無料	無料
翻訳 (1パック5,000語)	€1,000/パック	1パック無料	2パック無料

(原稿受領日 2013年3月13日)